NEWS RELEASE

2026 年 11 月 16 日

報道関係各位

株式会社ファミリーマート

家族の日に「親子おむすび教室」取材会を開催
おにぎり専門店 ぼんご 女将の右近由美子さん、
お笑いコンビのジョイマンさんが登壇し、
ぼんご直伝おむすびレクチャーや”おむすびラップ”を披露

株式会社ファミリーマート（本社：東京都港区、代表取締役社長：小谷建夫）は、2026 年 9 月に創立 45 周年を迎えました。継続して取り組んできた 5 つのキーワードを土台とし、「いちばんチャレンジ」を合言葉に活動をしています。このたび「いちばん地域に愛される」を目指した取り組みの一環として、2026 年 11 月 15 日（日）の『家族の日（※）』に、msb Tamachi（田町ステーションタワーS）にて、「親子おむすび教室」取材会を開催いたしました。戦略発表会では、取締役 副社長執行役員の加藤利夫が登壇し、創立 45 周年を機に、食を通じて人と人、店舗と地域をつなぐ取り組みと今後の展望を発表しました。また、特別ゲストとしてファミマのおむすび監修にも携わるおにぎり専門店ぼんご（以下、「ぼんご」）女将の右近由美子さん、お笑いコンビ・ジョイマンの池谷和志さん、高木晋哉さんが登場。おむすびにちなんだラップや、プロ直伝のおむすび作りを通じて、食の楽しさと人とのつながりを伝えるプログラムを実施しました。

（※）家族や地域の大切さ、こどもを社会全体で温かく包み込む大切さなどについて理解を深めてもらうための日として 2006 年に内閣府が制定。



■「食を届ける」だけでなく「食で人と人をつなぐ」へ

戦略発表会では、取締役 副社長執行役員の加藤利夫が登壇。創立 45 周年を迎えたファミリーマートが掲げる「地域の大きな食卓のような存在でありたい」という想いのもと、全国約 16,500 店舗のネットワークを活かした地域との新たなつながりづくりについて発表しました。食品ロス削減に向けた「涙目シール」や、全国 5,000 店舗規模に広がった「ファミマフードドライブ」など、社会課題の解決に向けた取り組みを紹介。また、2019 年に開始した「ファミマこども食堂」について、これまでに累計 806 回開催し、9,489 人（※）が参加した実績を振り返り、店舗を地域の交流拠点として活用してきたことを説明しました。

※2026 年 8 月時点

その取り組みをさらに発展させるものとして新たな形で実現したのが「親子おむすび教室」です。「ぼんご」の女将・右近由美子さんの「おむすび文化を次世代へ伝えたい」という想いと、ファミリーマートの「食を通じて地域の交流を深めたい」という想いが重なり、2024 年度に始動。2025 年度は福島、愛媛、大阪、静岡で開催し、今回の東京本社での開催には 28 組の親子を招きました。加藤は、つくる人と食べる人、さらに食べる人同士も結びつけたいという思いから「おむすび」という名称を大切にしていることを紹介し、食を通じて人と人の心を結び、地域のつながりを育んでいく考えを示しました。



また、今後は「食でつながる」「暮らしを支える」「地域と備える」の 3 つのステップで地域交流を発展させていく展望を発表。おむすび教室などの食育活動を通じた地域交流の促進に加え、地域の困りごとへの支援や自治体との連携による安心・安全なまちづくりへと役割を広げていく構想を示しました。さらに、将来的には誰もが気軽に立ち寄れる「地域で一番大きな食卓」のような存在を目指すと説明。45 周年のキーメッセージである「いちばんチャレンジ」の精神のもと、食を通じて生まれたつながりを地域の力へと変えていく決意を語りました。

■ジョイマンが「おむすび」ラップで登場！ファミマ 45 周年と池谷さんの年齢にも共通点

特別ゲストパートでは、「ぼんご」女将の右近由美子さんと、ジョイマンの池谷和志さん、高木晋哉さんが登場。池谷さんが「うちの高木がいません！」と呼びかけると、高木さんが独特なステップとともに登場し、「おむすびは

ーよろこびー♪、そんな日にマントヒヒ！」「ナナナナー♪ ナナナナー♪、7 の次 8ー！」「いきなり出てきてごーめーん！まことにすいまめーん！」と、おむすびをテーマにしたオリジナルラップを披露。池谷さんの「なんだこいつ～！」というおなじみのツッコミも飛び出し、会場は笑いに包まれました。右近さんは「すごい迫力で圧倒されちゃいました！でも、『おむすび』と『よろこび』で韻を踏んで伝えてくださって、とても嬉しかったです。」と笑顔でコメント。池谷さんは「ファミリーマートは 45 周年で同い年なので、マブダチのように感じています。また今日は右近さんにおむすびの握り方を教えていただけるので、しっかり学んで帰りたいと思います！」と意気込みを語りました。



■「強く握りすぎない」がプロのコツ！右近さん直伝のおむすびレクチャー＆弟子認定

続いて右近さんの指導のもと、池谷さんがおむすび作りに挑戦し、プロの技を学びました。食品衛生責任者の資格を持つ池谷さんは「この資格は 10 年前に取りましたが、初めて触れられました。料理は普段しますが、プロの方におむすびの握り方を教えていただける機会はあまりないので、緊張します。」とコメント。一方、高木さんは「ありがたい！キンメダイ！」などと次々にラップを繰り出し、会場を盛り上げました。右近さんは、おいしく握るためのポイントとして「おむすびは、混ぜるのではなく、切る。あまり強く握りすぎないことが大切です。お米をつぶさず、なるべく空気を入れながら、ふんわりと形を整えるように握ると、おいしく仕上がります。」と解説しました。

右近さんのおむすびレクチャーをもとに池谷さんがおむすびづくりに挑戦。完成したおむすびを見て、右近さんは「すごい上手ですよ！私の方が大きすぎちゃったかも…」とコメント。池谷さんは「親子おむすび教室」でも 2 個目のおむすびづくりに自主的に挑戦し、右近さんから「2 回目にしては上出来！」と絶賛されていました。

さらに右近さんは、親子でおむすびを握ることについて「小さなお子さんでも簡単に作れるのが魅力です。自分で握ったものを食べる楽しさもありますし、誰かのために作ってあげることで、自然と会話や笑顔が生まれると思います。」とおむすびの魅力を力説。完成したおむすびを前に池谷さんは「おむすび作りを通して、人とコミュニケーションを取る機会を作れたり、信頼関係の形成ができるんですね。」と笑顔を見せ、高木さんも「おむすび作るの楽しい！キョンシー！」と締めくくりました。

プロからしっかりとおむすびの握り方を学んだあとは、右近さんからジョイマンのお二人に、「弟子認定証」が授与

されました。認定証を受け取ると、高木さんは「認定！うんてい！」や「認定証！僕冷え性！」などラップを連続で繰り広げ、弟子認定証授与の感動を表現しました。





■「親子おむすび教室」初の全国規模開催！28 組の親子が全国から参加

「ファミマこども食堂」は、店舗近隣にお住まいのこどもたちやご家族を対象に、参加者同士が食事やコミュニケーションを楽しむことで、地域交流の活性化を応援する取り組みです。これまでは店舗のイートインスペースなどを活用して開催してきましたが、今年度 5 回目となる今回は、ファミリーマート創立 45 周年を機に、初めてファミリーマート本社で実施しました。

会場には、「ぼんご」の人気メニューを参考にしたさまざまな具材を用意。親子で好きな具材を自由に選び、組み合わせを楽しみながら、オリジナルのおむすび作りに挑戦しました。こどもたちからは「この具材おいしそうだから入れてみたい！」「もう 1 個作ってみたい！」といった声が飛び交い、会場は終始にぎやかな雰囲気に包まれました。親子で協力しながら思い思いのおむすびを完成させ、食を通じた交流を楽しむひとときとなりました。

＜当日の様子＞









＜参加者の声＞

「家で作るおむすびも美味しいが、レクチャーを受けて全く違う味になりました。こどももとっても楽しく学べて食べることが出来たのでまた参加したいです。」

「親子ともに大満足のイベントでした。サプライズゲストのジョイマンさんが応援してくれて、とても楽しかったです。」

「おいしく楽しく食べてファミマが更に好きになりました。」

＜「ぼんご」女将 右近由美子様のコメント＞

農業がなくなる可能性もある中で、ファミリーマートさんにこういった食の場を提供していただき、2000 年後へおむすびをつなげていきたいです。またこの『親子おむすび教室』で、お子さんと触れ合うのが好きです。子どもたちは飾らず本音なので、いつもわくわくしています。

■今回のイベントの開催概要

（1）実施日時

2026 年 11 月 15 日（日）11:00-12:30

（2）参加者

全国から募集したおこさまとそのご家族 28 組 59 名（おこさま 31 名、保護者 28 名）

（3）開催場所

ファミリーマート本社　msb Tamachi（田町ステーションタワーS）

（4）開催内容

「ファミマこども食堂」親子おむすび教室（11:00～12:30）

・ オリエンテーション、自己紹介など

・おむすびのお話

・おむすび教室（右近様より）

・作ったおむすびで一緒にお食事

・「弟子認定証」の授与（右近様より）

ファミリーマートは今後も、「ファミマこども食堂」の取り組みを通じて、地域活性化に貢献して参ります。

以上

＜参考情報＞

■「いちばんチャレンジ」に込められた思い

ファミリーマートは、2026 年 9 月に創立 45 周年を迎えました。時代の変化に合わせ、コンビニの枠を超えてお客さまに「いちばん」と選ばれる存在であり続けるため、私たちは「あなたのいちばんをたくさん作る『いちばんチャレンジ』」を新スローガンに掲げています。

この合言葉のもと、「おいしい」「ちょっとおトク」「わくわく楽しい」「ステキが見つかる」「革新的・最先端」「環境にやさしい」「働きたい」「地域に愛される」という 8 つの分野に基づき、ファミリーマート史上最大の挑戦を続けてまいります。

45 周年特設サイト：https://www.family.co.jp/campaign/spot/2026_45th.html